



2019年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年1月10日

上場会社名 株式会社ケイブ

上場取引所 東

コード番号 3760 URL <http://www.cave.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 高野 健一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役・CFO (氏名) 菊地 徹

TEL 03-6820-8176

四半期報告書提出予定日 2019年1月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の業績(2018年6月1日～2018年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	1,022	6.7	442		444		894	
2018年5月期第2四半期	1,095	20.3	53		54		35	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	291.87	
2018年5月期第2四半期	12.96	

(注)2018年5月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2019年5月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在しますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第2四半期	575	166	28.5
2018年5月期	1,559	1,060	67.9

(参考)自己資本 2019年5月期第2四半期 164百万円 2018年5月期 1,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		0.00		0.00	0.00
2019年5月期		0.00			
2019年5月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

2019年5月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期2Q	3,110,700 株	2018年5月期	3,110,700 株
期末自己株式数	2019年5月期2Q	47,035 株	2018年5月期	47,035 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期2Q	3,063,665 株	2018年5月期2Q	2,735,600 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・2019年5月期の業績予想につきましては、前述のとおり記載しておりません。本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、一連の自然災害からの被災地の復旧・復興に向けて、政府が被災者への生活支援を全力で進める中であって、個人消費の持ち直しや設備投資の増加による企業収益や雇用情勢に改善が見られ、全体として緩やかに回復しております。しかしながら、通商問題の動向やアジア各国の政策に関する不確実性による影響や、金融資本市場の変動の影響について留意が必要な状況となっております。

このような環境の中、当社の属するオンラインエンターテインメント業界におきましては、モバイルアプリ市場において、スマートフォン市場の拡大に伴って拡大が続いており、モバイル向けゲームアプリはゲーム人口が多いアジア地域におけるスマートフォンの普及に対応して増加し、市場全体を牽引してきました。2017年は、中国ほか新興国において無料あるいは低価格ゲームのダウンロードが増加しましたが、今後は、それらの成長は横ばいになると見込まれており、ビジネス用途、ヘルスケア用途、地図・ナビゲーションといったゲーム以外のアプリはビジネスや生活におけるハブ機能を担うようになるとみられております（出典：総務省「2018年版情報通信白書」）。

当社におきましては、2018年9月に韓国NGELGAMESと海外ゲームの新たな輸入パブリッシングタイトルとなる『デビルブック』の日本独占配信について契約を締結いたしました。『デビルブック』は全世界に先駆けて2019年1月8日に日本配信を開始いたしました。

主力であるスマートフォンゲーム『ゴシックは魔法乙女～さっさと契約しなさい～』につきましては、引き続き「美少女シューティング」への原点回帰を続けており、プレイヤー同士が対戦できる「ごまおつスポーツモード」の実装に向けて開発を行っております。この機能が実装されることで、「対戦」という「eスポーツ」に欠かせない要素を加えることができます。「ごまおつスポーツモード」は当期中の実装を予定しております。

一方で、『ゴシックは魔法乙女』に続く2本目の柱を目指していた『三極ジャスティス』につきましては、プレイ継続率の向上を目的として2018年8月に大規模アップデートを実施いたしましたが、目標とする継続率を達成することができず、2019年2月末のサービス配信停止を決定いたしました。これに伴い、『三極ジャスティス』に係る資産について440百万円の減損損失を計上しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高1,022百万円（前年同期比6.7%減）、営業損失442百万円（前年同期は53百万円の営業損失）、経常損失444百万円（前年同期は54百万円の経常損失）、四半期純損失894百万円（前年同期は35百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べて984百万円減少し575百万円となりました。これは、現金及び預金368百万円、未収入金42百万円の減少等により、流動資産が399百万円減少したことと、ソフトウェアの減損損失440百万円を計上したこと等により、固定資産が584百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べて90百万円減少し408百万円となりました。これは、未払金58百万円、未払費用39百万円の減少等により、流動負債が94百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて894百万円減少し166百万円となりました。これは、利益剰余金894百万円が減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の業績は2018年5月期において『ゴシックは魔法乙女』1タイトルが売上高の70%以上を占めており、『ゴシックは魔法乙女』の動向によって会社業績が大きく左右される状況となっております。この状況を改善するため、2017年11月に輸入パブリッシングタイトル『ロード・オブ・ダンジョン』、2018年6月にオリジナルタイトル『三極ジャスティス』をリリースしましたが、『三極ジャスティス』は当社の想定を大きく下回って進捗したため、2019年2月にサービスを終了する予定です。2019年1月8日に輸入パブリッシングタイトル『デビルブック』をリリースしましたが、個別タイトルの今後の推移を予測することが難しく、個別の進捗によって業績が大きく変化することから、現時点においては信頼性の高い通期及び半期の業績予想数値を算出することが困難であります。

したがって2019年5月期の業績予想につきましては、これらの当面の進捗状況を踏まえ、合理的な業績見通しの算定が可能になった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	602,704	234,028
売掛金	7,840	3,094
商品及び製品	3,979	3,520
貯蔵品	210	203
前払費用	18,027	23,774
未収入金	211,700	168,724
その他	561	12,007
流動資産合計	845,025	445,352
固定資産		
有形固定資産		
建物	56,737	56,737
減価償却累計額	△31,998	△33,777
建物(純額)	24,738	22,959
工具、器具及び備品	103,801	112,286
減価償却累計額	△86,955	△91,095
工具、器具及び備品(純額)	16,846	21,190
有形固定資産合計	41,584	44,150
無形固定資産		
商標権	1,125	914
ソフトウェア	8,717	5,834
ソフトウェア仮勘定	595,827	10,000
その他	630	630
無形固定資産合計	606,301	17,379
投資その他の資産		
敷金	50,836	52,320
差入保証金	15,971	15,971
長期未収入金	29,499	29,499
貸倒引当金	△29,499	△29,499
投資その他の資産合計	66,807	68,291
固定資産合計	714,693	129,821
資産合計	1,559,719	575,174

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年11月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	213,998	230,000
リース債務	2,545	4,136
未払金	149,463	90,790
未払費用	77,584	37,898
未払法人税等	14,891	8,324
未払消費税等	8,284	—
前受金	20,840	22,261
預り金	6,435	5,856
流動負債合計	494,043	399,268
固定負債		
リース債務	4,810	9,241
固定負債合計	4,810	9,241
負債合計	498,854	408,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,544,983	1,544,983
資本剰余金		
資本準備金	1,488,622	1,488,622
資本剰余金	1,488,622	1,488,622
利益剰余金		
利益準備金	870	870
その他利益剰余金		
別途積立金	10,000	10,000
繰越利益剰余金	△1,939,138	△2,833,339
利益剰余金	△1,928,268	△2,822,469
自己株式	△46,934	△46,934
株主資本合計	1,058,402	164,202
新株予約権	2,462	2,462
純資産合計	1,060,864	166,664
負債純資産合計	1,559,719	575,174

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
売上高	1,095,799	1,022,766
売上原価	392,053	677,668
売上総利益	703,745	345,098
販売費及び一般管理費		
回収費	326,028	300,508
広告宣伝費及び販売促進費	158,023	157,829
役員報酬	39,150	38,400
給料及び手当	65,083	63,919
研究開発費	17,114	97,267
地代家賃	15,063	15,229
支払手数料	10,272	19,317
その他	126,754	95,613
販売費及び一般管理費合計	757,490	788,085
営業損失(△)	△53,744	△442,986
営業外収益		
受取利息	3	2
前受金消却益	926	—
その他	0	74
営業外収益合計	929	77
営業外費用		
支払利息	1,586	1,220
その他	28	0
営業外費用合計	1,614	1,220
経常損失(△)	△54,429	△444,129
特別利益		
事業譲渡益	19,655	—
新株予約権戻入益	602	—
特別利益合計	20,257	—
特別損失		
減損損失	—	448,925
固定資産除却損	123	—
特別損失合計	123	448,925
税引前四半期純損失(△)	△34,296	△893,055
法人税、住民税及び事業税	1,145	1,145
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	1,145	1,145
四半期純損失(△)	△35,441	△894,200

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△34,296	△893,055
減価償却費	9,992	156,941
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29	—
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	1,586	1,220
固定資産除却損	123	—
減損損失	—	448,925
事業譲渡損益(△は益)	△19,655	—
新株予約権戻入益	△602	—
売上債権の増減額(△は増加)	14,760	6,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,601	466
未収入金の増減額(△は増加)	88,200	42,976
未払金の増減額(△は減少)	4,896	△57,498
未払費用の増減額(△は減少)	△1,918	△39,686
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,257	△8,524
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△66	△5,421
その他の資産の増減額(△は増加)	△3,254	△14,537
その他の負債の増減額(△は減少)	513	△578
小計	52,592	△362,608
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△1,609	△1,268
法人税等の支払額	△2,624	△2,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,361	△366,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,342	△3,216
無形固定資産の取得による支出	△177,881	△10,101
敷金の差入による支出	—	△3,850
関係会社の清算による収入	16,938	—
事業譲渡による収入	19,655	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,630	△17,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	14,002	16,002
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,272	△1,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,729	14,656
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△92,539	△368,676
現金及び現金同等物の期首残高	368,551	602,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	276,012	234,028

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2018年12月11日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行について決議し、2018年12月27日に払込手続きが完了いたしました。

(1) 発行株式数及び種類

普通株式 760,000株

(2) 発行価額

1株につき 591円

(3) 発行価額の総額

449,160,000円

(4) 増加する資本金及び資本準備金の額

増加する資本金の額 224,580,000円

増加する資本準備金の額 224,580,000円

(5) 募集方法

第三者割当の方法による

(6) 割当先及び株式数

株式会社KeyHolder 760,000株

(7) 払込期日

2018年12月27日

(8) 調達する資金の用途

- ・ ネットクレーンゲーム事業の新規展開
- ・ 新規スマートフォンネイティブゲームのアプリ開発
- ・ 「デビルブック」のプロモーション費用